

## 「春の大阪『国宝』めぐり 2026」の開催について

公益財団法人大阪観光局は、大阪デスティネーションキャンペーン推進協議会（事務局：大阪府、大阪市、堺市、公益財団法人大阪観光局）と J R 西日本が 2026 年 4 月から 6 月にかけて行う「大阪デスティネーションキャンペーン アフターキャンペーン」に合わせ、大阪府内にある国宝や旧国宝<注 1>を公開する「**春の大阪『国宝』めぐり 2026**」を開催いたします。

平城京（奈良）や平安京（京都）よりもさらに古い時代に首都<注 2>であった大阪は、有史以来現代に至るまでほぼ途切れることなく**歴史の表舞台に立ち続けている日本唯一の都市**となっています。第二次世界大戦で空襲を受け、また国立博物館を有しない大阪は、“古いものがない”と誤解されがちですが、例えば**国宝件数**では都道府県別で東京、京都、奈良に続く**全国第 4 位**<注 3>を誇っています。

そこで、昨年「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」が開催され大阪に注目が集まっている今、この地が豊かな文化を育んできた歴史ある地域であることを府内外の皆様に変更して知っていただく機会を設けるべく、**2026 年 4 月 1 日（水）から 6 月 30 日（火）**にかけ、**大阪府内 23 箇所**で、**国宝 18 件、旧国宝の重要文化財 61 件に上る美術工芸品や建造物などの公開・御開帳を実施**します。

<注 1>1897 年施行の「古社寺保存法」やそれを引き継いで 1929 年に施行された「国宝保存法」では、文化財を区別することなく全て「国宝」に指定していました。しかし、1950 年に新たに施行された「文化財保護法」では、それまでの「国宝」を一旦全て「重要文化財」と見なし、その「重要文化財」の中からより価値の高い文化財のみを改めて「国宝」に指定し直しました。この際に生まれた、文化財保護法施行以前には「国宝」とされていたが現在は「重要文化財」となっている文化財を、現在の「国宝」と区別するため通称「旧国宝」と呼んでいます。

<注 2>大化の改新(645 年)に伴う難波遷都以来 793 年までの約 150 年間にわたり、現在の大阪市中央区に難波宮が置かれ、日本の首都として、また副都として、日本の古代史上、大きな役割を果たしました。

<注 3>都道府県別国宝件数ベスト 10 <2026 年 1 月 1 日現在>

①東京	293	②京都	242	③奈良	208	④大阪	63	⑤滋賀	57
⑥和歌山	36	⑦兵庫	21	⑧神奈川	19	⑨広島	19	⑩栃木	17

### 開催概要

1. 名称 春の大阪『国宝』めぐり 2026
2. 期間 2026 年（令和 8 年）4 月 1 日（水）から 6 月 30 日（火）まで
3. 会場 大阪府内の 23 箇所（公開・御開帳内容の詳細は添付のチラシをご参照ください）
4. 主催 公益財団法人 大阪観光局
5. マスコミのみなさまへ 2026 年 2 月 24 日（火）14 時からの大阪観光局定例記者会見において正式発表いたします。是非、ご出席のご検討を宜しくお願い申し上げます。

#### 【報道関係の方からのお問合せ先】

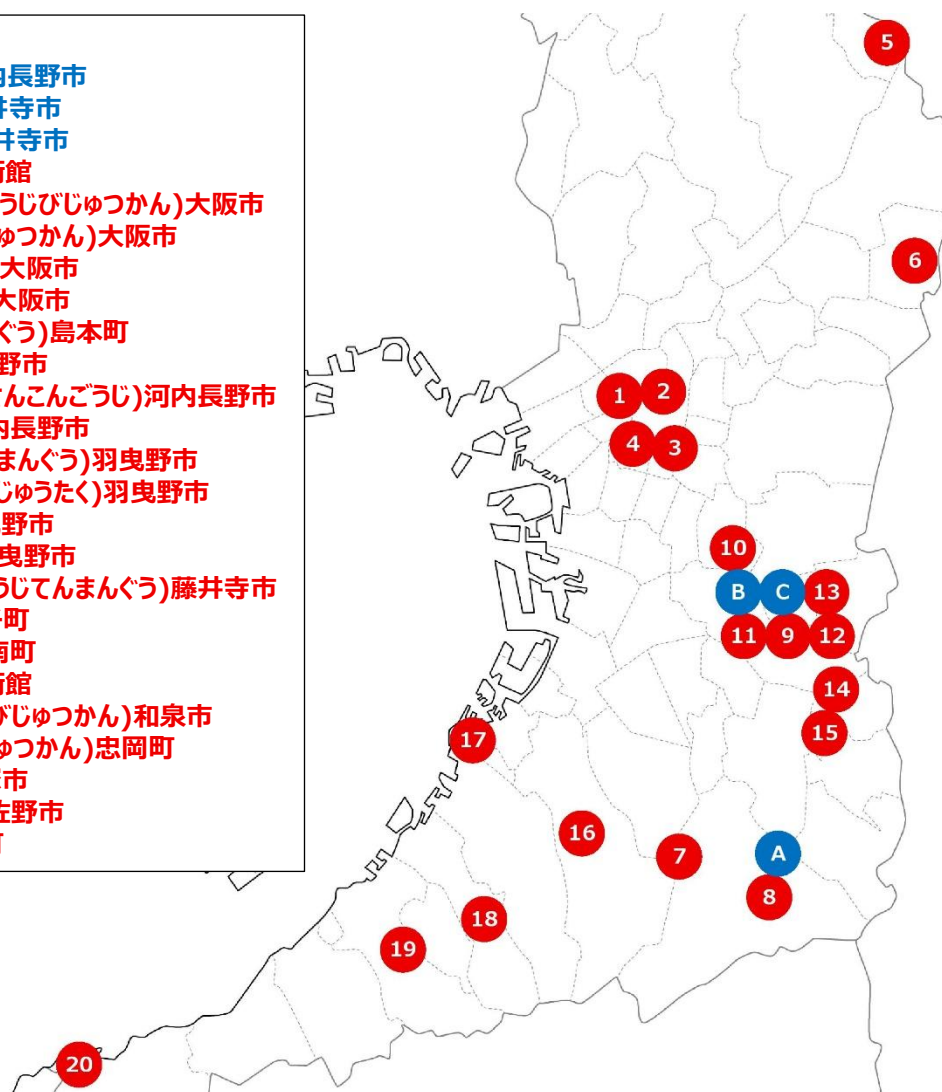
公益財団法人大阪観光局 / 高木

TEL : 06-6282-5910 / E-mail : takagi-m@octb.jp

<https://osaka-info.jp/special/dc/specialtrip/?category=kokuho>

## 公開・御開帳箇所

- ①観心寺(かんしんじ)河内長野市
- ②葛井寺(ふじいでら)藤井寺市
- ③道明寺(どうみょうじ)藤井寺市
- ①大阪市立東洋陶磁美術館  
(おおさかしりつとうようとうじびじゅつかん)大阪市
- ②藤田美術館(ふじたびじゅつかん)大阪市
- ③四天王寺(してんのうじ)大阪市
- ④大乘坊(だいじょうぼう)大阪市
- ⑤水無瀬神宮(みなせじんぐう)島本町
- ⑥獅子窟寺(ししくつじ)交野市
- ⑦天野山金剛寺(あまのさんこんごうじ)河内長野市
- ⑧延命寺(えんめいじ)河内長野市
- ⑨誉田八幡宮(こんだはちまんぐう)羽曳野市
- ⑩吉村家住宅(よしむらけじゅうたく)羽曳野市
- ⑪野中寺(やちゅうじ)羽曳野市
- ⑫長円寺(ちょうえんじ)羽曳野市
- ⑬道明寺天満宮(どうみょうじてんまんぐう)藤井寺市
- ⑭叡福寺(えいふくじ)太子町
- ⑮得生寺(とくしょうじ)河南町
- ⑯和泉市久保惣記念美術館  
(いずみしくぼそうきねんびじゅつかん)和泉市
- ⑰正木美術館(まさきびじゅつかん)忠岡町
- ⑱孝恩寺(こうおんじ)貝塚市
- ⑲慈眼院(じげんいん)泉佐野市
- ⑳興善寺(こうぜんじ)岬町



## 主な見どころ7選

### 1. 大阪国宝三観音めぐり(4月17・18日)

**国宝** 木造如意輪観音坐像(河内長野市・観心寺)

**国宝** 乾漆千手観音坐像(藤井寺市・葛井寺)

**国宝** 木造十一面観音立像(藤井寺市・道明寺)

大阪府の河内地域に国宝の観音様が三体存在します。従来、4月18日しか同日拝観できませんでしたが、本企画を機に4月17・18日の2日間、同日拝観が可能となりました。

観心寺・如意輪観音像は日本三如意輪のひとつ(他は兵庫・神呪(かんのう)寺、奈良・室生(むろう)寺)で、「国宝第5号」として「国宝第1号」として知られる京都・広隆寺の弥勒菩薩像などと同時に日本で最初に国宝に指定された仏像です。

天平彫刻の粋を集めた葛井寺・千手観音像は、奈良・唐招提寺や京都・寿宝(じゅほう)寺の像と同じく極めて珍しい千本(葛井寺像は正確には1041本)の手を実際に持つ千手観音です。

道明寺・十一面観音像は、菅原道真公が自ら刻まれたと伝わり、ほぼ木肌のまま仕上げられた平安時代壇像彫刻の傑作です。



観心寺 如意輪観音像

## 2. 超名品！二つの天目茶碗（4月11日～6月30日<休館日を除く>）

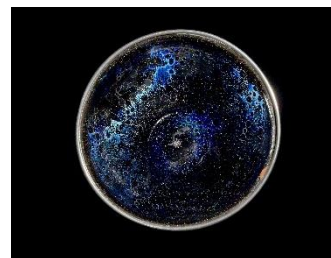
**国宝** 曜変天目茶碗（大阪市・藤田美術館）

**国宝** 油滴天目茶碗（大阪市・大阪市立東洋陶磁美術館）

天下の名品として伝わってきた中国・南宋時代に作られた **2 碗の「天目茶碗」** が僅か **3km**（京阪電車で 2 駅[京橋～なにわ橋]）の距離で同時公開され、見比べることができます。

**藤田美術館の曜変天目(ようへんてんもく)茶碗は、世界に3碗しか現存しない国宝中の国宝**です。瑠璃色の曜変と呼ばれる斑文は、まるで宇宙に浮かぶ星のように美しい輝きを放ち、優麗な華やかさを誇ります。徳川家康から譲り受けた水戸徳川家、藤田家を経て今日に伝えられました。

一方、**大阪市立東洋陶磁美術館の油滴天目(ゆてきてんもく)茶碗は**、釉薬の表面に生じた油の滴のような斑文がその名の由来です。関白・豊臣秀次が所持し、のち西本願寺、京都三井家、若狭酒井家に伝来し、最後に安宅コレクションとなった**油滴天目の最高傑作**です。



藤田美術館 曜変天目茶碗



大阪市立東洋陶磁美術館  
油滴天目茶碗  
(住友グループ寄贈/安宅コレクション)  
写真：六田知弘

## 3. 日本で初めて国宝<注 1>に指定された民家（4月18・19日）

**重要文化財[旧国宝]** 吉村家住宅（羽曳野市）

**吉村家住宅は**、1937(昭和 12)年に**日本で最初に文化財（「国宝保存法」に基づく「国宝」）指定を受けた民家**で、全国でわずか 2 件<注 2>しかないいわゆる「旧国宝」に指定された民家建築のうちのひとつです。吉村家は丹北(たんぼく)、八上(やかみ)の両郡内十八ヶ村[現在の羽曳野、松原、八尾、大阪市]の大庄屋をつとめた名家で、大和棟<注 3>が美しい主屋は 17 世紀前半の建築。



外庭および土間に加え邸内まで公開されますので、この建物の白眉である客室部に残る**江戸初期の数寄屋風書院様式**を間近で見学できます。

<注 1>文化財保護法施行により現在は重要文化財。

<注 2>「旧国宝」に指定された 2 件の民家は、吉村家住宅と京都市にある小川家住宅(二條陣屋)。

<注 3>母屋部分を急勾配の切妻の茅葺とし、塗籠とした両妻に大屋根より高い瓦葺の小屋根の付いた袖壁(高塀/たかへえ)を建て、下屋部分は緩勾配の瓦葺としたもので、奈良県・大阪府・京都府南部における富裕農家を象徴する屋根形式。

## 4. 重要文化財[旧国宝]の仏像 19 軀が一堂に会する奇跡（3月20日～4月19日の土・日・祝）

**国宝** 観音堂（貝塚市・孝恩寺）

**重要文化財[旧国宝]** 木造弥勒菩薩坐像他 19 軀（貝塚市・孝恩寺）

726(神亀 3)年に行基が開創した観音寺の観音堂と仏像群等を 1914(大正 3)年に引き継いだ浄土宗寺院で、今年で前身寺院の観音寺から通算して開創 1300 年を迎えます。観音寺は七堂伽藍を擁する大寺院でしたが、中世の戦火により鎌倉時代に再建された観音堂と、川や池に投げ入れ救われた平安時代の仏像群を残すのみとなっていました。

**孝恩寺は収蔵庫内が圧巻**。ずらりと並ぶ仏像は貝塚市指定有形文化財の持国天像を除き全て重要文化財[旧国宝]。**19 軀の仏像は 18 件の重要文化財として指定されており、これだけの指定件数の仏像を一堂で拝することができる寺院は、他には京都・広隆寺くらいしかありません。**（登録博物館・博物館相当施設・公開承認施設を除く）



孝恩寺 重要文化財仏像群



孝恩寺 観音堂

なお、国宝・観音堂は、鎌倉期に釘を使わずに建てられたことから「釘無(くぎなし)堂」と呼ばれ、大阪府内最古級の木造建造物です。



# 春の大阪

# 国宝

## めぐり

### 2026年4月-6月

多宝塔(慈眼院)

紙本着色(日月四季山水図)  
(天野山金剛寺)

木造阿弥陀如来坐像  
(得生寺)

曜変天目茶碗  
(藤田美術館)

金堂(観心寺)

大阪府内の23箇所

国宝18件

旧国宝の重要文化財61件

を一挙公開・御開帳

歌仙歌合

(和泉市久保惣記念美術館)

【公開・御開帳23箇所】 大阪市立東洋陶磁美術館・藤田美術館・四天王寺・大乗坊(以上大阪市)、水無瀬神宮(島本町)、獅子窟寺(交野市)、観心寺・天野山金剛寺・延命寺(以上河内長野市)、菅田八幡宮・吉村家住宅・野中寺・長円寺(以上羽曳野市)、葛井寺・道明寺・道明寺天満宮(以上藤井寺市)、観福寺(太子町)、得生寺(河南町)、和泉市久保惣記念美術館(和泉市)、正木美術館(忠岡町)、孝恩寺(貝塚市)、慈眼院(泉佐野市)、興善寺(岬町)



公益財団法人  
大阪観光局

注)「国宝めぐり」の「国宝」には、現行の文化財保護法[1950(昭和25)年施行]で指定されている「国宝」のほか、文化財保護法では「重要文化財」とされているが同法施行以前の古社寺保存法または国宝保存法の下では「国宝」に指定されていないいわゆる「旧国宝」も含まれています。

# 春の大阪 国宝めぐり 2026

公開・御開帳  
予定一覧

【大阪国宝三観音めぐり[4/17・18のみ]・国宝特別公開[4/17・18以外]】 太字=特別公開、網掛=通常公開

番	所在	名称	◎国宝 ●重要文化財【旧国宝のみ】	公開・御開帳期間	拝観料・入館料等	駅からのアクセス
A	河内長野市	観心寺	◎金堂【内陣】◎木造如意輪観音坐像●絹本着色大随求像●木造広目天立像・増長天立像2軀●金銅觀世音菩薩立像●金銅釈迦如来半跏像●木造愛染明王坐像●訶梨帝母天堂●木造聖観音立像(伝僧空海作)【2軀のうち1軀】●木造聖観音立像3軀●木造薬師如来坐像●木造弥勒菩薩坐像●木造地藏菩薩立像●木造釈迦如来坐像●木造如意輪観音坐像●木造宝生如来坐像●木造多聞天立像●木造十一面観音立像●木造持国天立像●腹巻	4/17・18 10:00~16:00	1,000円 [金堂内拝観は30分毎の入れ替え制]	南海高野線または近鉄長野線「河内長野」から南海バス「観心寺」下車、すぐ
B	藤井寺市	葛井寺	◎乾漆千手観音坐像	4/17・18、5/18、6/18 9:00~16:30	2,000円 (阿弥陀二十五菩薩堂特別拝観および記念品付)	近鉄南大阪線「藤井寺」下車、徒歩3分。
C	藤井寺市	道明寺	◎木造十一面観音立像●木造聖徳太子立像	4/17・18・25、5/18・25、6/18・25 9:00~16:00	500円	近鉄南大阪線「道明寺」または「土師ノ里」下車、徒歩7分。

【国宝特別公開】 太字=特別公開、網掛=通常公開

番	所在	名称	◎国宝 ●重要文化財【旧国宝のみ】	公開・御開帳期間	拝観料・入館料等	駅からのアクセス
1	大阪市北区	大阪市立東洋陶磁美術館	◎飛青磁花生◎油滴天目茶碗	4/11~8/2 (月曜休館【祝日の場合は翌日】) 9:30~17:00【入館は16:30まで】	一般1,600円 高校生・大学生800円	京阪中之島線「なにわ橋」下車、すぐ
2	大阪市都島区	藤田美術館	◎曜变天目茶碗	4/1~6/30【渡~憧れの舶来品~】 10:00~18:00	1,000円 19歳以下無料	JR東武線「大阪城北詰」下車、徒歩1分 または京阪「京橋」下車、徒歩10分
3	大阪市天王寺区	四天王寺(宝物館)	●石鳥居扁額●木造薬師如来坐像●木造阿弥陀如来坐像	3/7~5/5【春季宝展】 8:30~16:30【毎月21日は8:00~17:00】入館は閉館の20分前まで	一般500円 高校生300円 中学生以下無料	大阪メトロ谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」下車、徒歩5分
4	大阪市浪速区	大乗坊	●木造毘沙門天立像【御前立本尊】	4/1~6/30【5/10を中心とした数日間に秘仏御本尊御開帳】 6:00~17:00	志納	南海「難波」下車、徒歩5分
5	島本町	水無瀬神社	●客殿●茶室(燈心席)	4/1~6/30【客殿公開は4/18・19のみ】 9:00~16:00	1,000円	阪急京都線「水無瀬」またはJR京都線「島本」下車、徒歩10分
6	交野市	獅子窟寺	◎木造薬師如来坐像	4/17・18 9:00~16:00	500円	京阪交野線「河内森」またはJR学研都市線「河内磐船」下車、徒歩40分
7	河内長野市	天野山金剛寺	◎木造大日如来坐像・木造不動・降三世明王坐像3軀①●金堂【内陣】①◎紙本着色日月四季山水図②●多宝塔●御影堂●鐘楼●樓門●食堂	①4/17・18②5/3~5 9:00~16:30【受付は16:00まで】	1,000円	南海高野線または近鉄長野線「河内長野」から南海バス「天野山」下車、すぐ
8	河内長野市	延命寺(宝物館)	●木造釈迦如来立像	4/17・18、5/5 9:00~17:00	4/17・18 200円 5/5 無料	南海高野線「美加の台」から南海バス「神ヶ丘口」下車、徒歩10分
9	羽曳野市	誉田八幡宮	◎金銅透彫鞍金具2点◎塵地螺鈿金銅装神輿	4/1~6/30の土曜 13:00~16:00	500円	近鉄南大阪線「古市」下車、徒歩10分
10	羽曳野市	吉村家住宅	●吉村家住宅	4/18 10:00~16:00 4/19 10:00~15:00	500円	近鉄南大阪線「高鷲」下車、徒歩15分
11	羽曳野市	野中寺	●金銅弥勒菩薩半跏像●木造地藏菩薩立像	4/17・18、5/18、6/18 9:30~16:00	500円	近鉄南大阪線「藤井寺」から近鉄バス「野々上」下車、すぐ
12	羽曳野市	長円寺	●木造十一面観音立像	4/18 10:00~15:00	志納	近鉄南大阪線「古市」下車、徒歩3分
13	藤井寺市	道明寺天満宮(宝物館)	◎銀装革帯・玳瑁装牙櫛・牙笏(管公遺品6点のうち3点)	4/18、5/10 10:00~16:00	大人500円 小学生100円	近鉄南大阪線「道明寺」下車、徒歩3分
14	太子町	叡福寺(宝物館)	●高屋連枚人墓誌	4/1~6/30の土日祝 9:30~16:00【4/11・12は9:30~16:30】	大人500円 小学生200円	近鉄長野線「喜志」から金剛ふるさとバス(近鉄バス)で「聖徳太子御廟前」下車、すぐ
15	河南町	得生寺	●木造阿弥陀如来坐像	4/1~6/30 8:00~16:00 (法要等で拝観不可の場合あり)	志納	近鉄長野線「喜志」から近鉄バス「大宝2丁目」下車、徒歩9分
16	和泉市	和泉市久保惣記念美術館	◎青磁 鳳凰耳花生 銘「万声」①◎歌仙歌合②	①4/12~6/14②4/12~5/10 (月曜休館【祝日の場合は翌日】) 10:00~17:00【入館は16:30まで】	一般600円 高・大生400円	南海泉北線「和泉中央」から南海バス「美術館前」下車、すぐ
17	忠岡町	正木美術館	◎大燈国師墨蹟2幅	4/4~5/10(月曜休館、但し5/4は開館し5/7休館) 10:00~16:30【最終入館16:00】	一般700円 高・大生500円 小・中生300円	南海本線「忠岡」下車、徒歩15分
18	貝塚市	孝恩寺	●板絵着色天部像●木造弥勒菩薩坐像●木造地藏菩薩立像●木造多聞天立像●木造聖観音立像2軀●木造十一面観音立像●木造釈迦如来坐像●木造帝釈天立像●木造難陀電王立像●木造普賢菩薩立像●木造文殊菩薩立像●木造弁才天立像●木造薬師如来立像●木造跋難陀電王立像●木造虚空蔵菩薩立像●木造阿弥陀如来坐像●木造阿弥陀如来立像●木造十一面観音立像(伝観音菩薩像)●木造十一面観音立像(伝勢至菩薩像)◎観音堂	3/20~4/19の土日祝 午前の部:10:00~12:00 午後の部:13:30~15:30	1,000円	水間鉄道線「水間観音」下車、徒歩20分
19	泉佐野市	慈眼院	◎多宝塔【本尊御開帳】●金堂【外観のみ】	4/17・18・25・26 8:00~16:00	500円	南海本線「泉佐野」またはJR阪和線「日根野」から南海ウイングバス「東上」下車、すぐ
20	岬町	興善寺	●木造大日如来坐像●木造薬師如来坐像●木造釈迦如来坐像	4/17~19 9:00~16:00	500円	南海本線「みさき公園」または南海多奈川線「多奈川」から岬町コミュニティバス「極楽橋」下車、徒歩10分

※記載の内容(料金を含む)は、2026年2月現在の情報に基づいており、変更となる場合があります。